

南三陸 復興まちづくり通信

第60号 (令和元年6月発行)



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を歩んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。

震災時の御慰問に感謝！ ハマーレ歌津で改元を前に「天皇皇后両陛下写真展」



改元を前にした4月27日から、南三陸町歌津の交流施設「かもめ館」で「天皇皇后両陛下写真展」が開催されました。東日本大震災から間もない2011年4月27日、当時の両陛下が壊滅的な被害を受けた歌津地区を見舞われました。会場には津波で全てを失いながらも、両陛下をお迎えしよう手を振る住民の姿、伊里前小学校の校庭でがれきの広がる海辺の被災状況を目にし、黙礼をなさる両陛下、避難所となった歌津中学校の体育館で被災者を励まされる両陛下のお写真など約30点を展示。10日間の期間中に、およそ5,000人が来場しました。

志津川地区復興拠点連絡道路が全線開通！ 役場、病院、商店街へのアクセス向上



南三陸町が志津川地区で整備を進めてきた「復興拠点連絡道路」が4月26日、全線開通しました。

防災集団移転促進事業による志津川東、志津川中央、志津川西の3つの高台団地を結びます。西団地と国道398号志中大橋までのルートのうち最後の区間となった約120mの工事が完成し、総延長2.4kmの道路が1本につながりました。2013年11月の着工から5年5カ月。総工費は約35億円です。

のぞみ福祉作業所で オープンファクトリー開催

社会福祉法人洗心会が運営する「のぞみ福祉作業所」で4月21日、施設を利用者の家族や地域の人たちに公開するオープンファクトリーが行われました。隣接する伊里前復興公営住宅や高台移転団地の住民など約70人が訪れ、親の会のメンバーの案内で、紙漉きや工作をする作業室の様子や、通所者が手がけた製品を見学しました。昼食時には中庭でカレーや焼き鳥が振る舞われ、楽しく交流しました。



戸倉地区で「はつらつシニアグラウンドゴルフ大会」

戸倉公民館（佐藤通館長）と戸倉コミュニティ推進協議会が共催する「戸倉地区はつらつシニアグラウンドゴルフ大会」が5月30日に開催されました。公民館前のグラウンドで行われた大会には、戸倉防集団地や復興公営住宅の住民など33人が参加。7つの班に分かれてコースを回りスコアを競いました。大会終了後には、戸倉婦人会のメンバーが炊き込みご飯と豚汁を振る舞い、みんなで会食をして親睦を深めました。1位から3位までのプレーヤーには賞品が贈られました。

～寄木地区住民と支援団体が海鮮BBQで交流会～

首都圏の有志団体「ウイズアス・プロジェクト」のメンバー30人が5月25日、福幸絆ワカメプロジェクトを通して支援を続ける歌津寄木地区を訪問し、交流会を催しました。漁港のわかめ共同作業所で開かれた行政区主催の「海鮮バーベキュー大会」には地区民約50人が参加。ホタテやカキ、ホヤなどのBBQでもてなしました。世話人の原田裕子さんは「今回で11回目の訪問。寄木の皆さんは親戚以上」と話しました。



五年前、上山緑地公園から志津川小学校に抜ける山道に、兵庫県加古川市の平岡中学校の生徒さん一六〇名と一緒に椿を三十二本植樹しました。山の中で木漏れ目を浴びながら年ごとに背丈を伸ばし、今では人の背丈ほどに育っています。あの時の生徒さんたちも逞しく生きる椿のように、きっと立派に成人されたことでしょう。

梅雨の季節がやってきますと、洗濯物が乾かなかったり、買いた物が面倒だったり、なにかと憂鬱になります。山に目をやると、そこにはまたとても嬉しそうに、新芽をぐんぐん伸ばしています。草木にとっては、全身で心地よさを感じるような、待ってましたの梅雨のようです。

【雑感】

一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山 26
上山八幡宮 社務所内 minasan.msrb@gmail.com

当会は今年度、東日本大震災現地 NPO 応援基金 [特定助成] 「東日本大震災復興支援 JTNPO 応援プロジェクト助成金」の支援をいただき活動しています。